

[様式 9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都市聚楽保育所	施設種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 25 年 11 月 12 日

総評	<p>聚楽保育所は、昭和55年2月に京都市営保育所として設立されました。中京区の北端、上京区に隣接し、都心部にありながら、周辺には昔ながらの商店や住宅、神社仏閣等落ち着いた町並みが広がっています。</p> <p>保育では、京都市が策定した市営保育所の理念に則り、所長、副所長を中心一人ひとりを大切にした、心のこもった保育実践に努めています。遊びを乳幼児期にふさわしい学びの方途、機会と捉え、「子ども自らがわくわくときどきを感じる」、子ども主体の保育を目指しています。</p> <p>地域子育て拠点事業では、保健センターなども支援センターとの連携のもと中京区全体の育児困難家庭への訪問を行っています。また障害児保育については医療機関・併行通園施設等の関係機関・施設との連携を密にし、地域における子どもと子ども家庭のセーフティネットとして機能するよう努めています。</p> <p>また、職場内研修を活かし、管理者のみならず、クラス担当保育士、地域担当保育士、給食担当者等が協力して、子どもたち自身が成長し個性が発揮出来るよう、子どもと保育士等が共に育ち深まるような保育所運営に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画・短期指導計画の評価を毎月実施しています。また総括的な評価・反省は、「園の計画」の中にある重点目標(保育の目標)を振り返る会議を年2回開催し、次の計画作成に活かしています。 地域との交流活動として、保育所の2階にある児童館との交流や、夏祭りやおしゃべりサロン、敬老の集い等の行事開催、隣接する中央図書館との連携事業を実施しています。 子どもの一人ひとりの活動についてより良く理解し、そこに関与する保育士等の行動、保育の場の意味をより深く省察することを目的に、子育て支援部保育担当部長である鯨岡 峻氏による「エピソード記述研修」に取り組み保育実践に生かしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針や保育目標については、短時間勤務の職員を含む全ての職員に対して周知・理解する仕組みや取り組みを設けられるとなお良いでしょう。 会議録については第三者が見ても出席者が明確にわかるように、また、マニュアルについては現在の保育実践に沿って整備・改善が図られるとなお良いでしょう。 実習生の受け入れについて養成校が指定する書類の作成だけでなく、保育所主体の実習プログラム、指導マニュアル等について整備されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9－2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	京都市聚楽保育所
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2013年11月12日（火）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。（非該当）	非該当	非該当
		② 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
		⑥ 保育課程が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・市営保育所で共通の保育理念があり、保育所の玄関やパンフレットやホームページにも掲載されています。基本方針・保育目標については各市営保育所で独自に明文化され、その内容は正規職員や保護者に周知されています。今後は短時間勤務の職員も含め、全ての職員が理解し合う機会を設けられると良いでしょう。
- ・保育課程は「園の計画」として管理者を中心に、毎年4月に前年度の反省・課題を踏まえ、子どもの状況や地域の特性を基に作成しています。年間指導計画・短期指導計画は、保育課程を踏まえ作成されています。
- ・年間指導計画・短期指導計画の評価を毎月実施しています。また総括的な評価・反省は、「園の計画」の中にある重点目標(保育の目標)を振り返る会議を年2回開催し、次の計画作成に活かしています。
- ・管理者は月1回全体職員会議、乳児部会議、幼児部会議の実施や、必要に応じて適宜会議を開き、保育所の方針に沿った保育が展開されるよう努めています。今後は、それらの会議録が欠席した職員も確実に共有出来る仕組みや、保育の内容に沿ったマニュアルの改善が実施されるよう取り組まれるとより良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A A A A A A A A A A A B	A A A A A A A A A A A B
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 ① 必要な社会資源を明確にしている。	A A A A A	A A A A A

[自由記述欄]

・年2回、職員の就業状況や意向を把握する個人ヒアリングを実施し、課題があれば保育課と連携し対応しています。また、市と連携し悩み相談窓口などの利用が可能です。

・研修の内容が階層別・分野別で示されており、それぞれの役割と目的に沿った研修が市との連携の中、整備されています。研修内容の報告書が作成されており、職員間で情報が共有されています。今後は階層別・分野別から更に個別の計画に落とし込むとより良いでしょう。

・実習生の受け入れに関するマニュアルを整備し、多くの実習生を受け入れています。今後は養成校が指定する書類の作成だけでなく、保育所でも実習生の記録が残るよう書類を作成されると良いでしょう。

・保育所の2階にある児童館との交流や、夏祭りやおしゃべりサロン、敬老の集い等の行事開催、隣接する中央図書館へ週1回のお話を聞きに通うなど、地域との交流に積極的に取り組んでいます。また子育て支援事業の中で、在宅家庭訪問を実施し保健センターや子ども支援センター、主任児童委員と連携し子育て困難家庭への訪問を行っています。

・中京区の民間保育園の職員と合同で保育研究集会を開催し毎年200名ほどの交流を行っています。

III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の 福祉サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	III-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A A	A A
III-2 サービスの質 の確保	III-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行って	A A	A A
		① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A A A	A A A
	III-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A A	A A
		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	B

[自由記述欄]

- ・個人情報の保護に関するマニュアルが整備されており、個人情報保護に関する誓約書を職員だけでなく、実習生やボランティアからも取っています。
- ・苦情解決の仕組みが整備され、苦情・要望内容や対応方法が記録されています。行事ごとに保護者アンケートも実施しており、その結果を保護者へフィードバックしています。
- ・聚楽保育所は初めての第三者評価受診になりますが、市営保育所として定期的に順次受診しており、その内容を市営保育所間で共有し改善に繋げています。
- ・職員一人ひとりの自己評価表があり、自己目標を定めています。それを基に管理者と年2回の個人面談を行い、達成度を確認し助言を行っています。
- ・転園先より要望があった場合には適宜対応していますが、今後は保育の継続性に配慮した手順や文書を定められるとなお良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けるよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

- ・内科健診は、0歳児は毎月、1・2歳児は隔月、3～5歳児は年2回実施しています。また歯科健診、眼科検診、耳鼻科検診、尿・ぎょう虫検査も定期的に行っており、その検査結果によって保育に反映出来るよう情報を共有しています。4～5歳児はフッ化洗口を毎日実施しています。
- ・園内に畑があり、栽培活動の年間計画を作成し、子どもが種植えから収穫、クッキングや食材の下ごしらえなどの体験が出来るよう取り組んでいます。子どもと保育士の人気給食ランキングを実施し、人気レシピや保護者の希望したレシピを自由に取れるようにしています。食育会議は毎月実施し、これらの内容を評価・反省し食育に関する取り組みに活かしています。
- ・子どもの一人ひとりの活動についてより良く理解し、そこに関与する保育士等の行動、保育の場の意味をより深く省察することを目的に、子育て支援部保育担当部長である鯨岡 峻氏による「エピソード記述研修」に取り組み保育実践に活かしています。また保育所内に子どもたちの季節を感じさせる造形物や額に入れた絵画作品の展示、日々の保育内容が写真入りで貼りだされているなど、日ごろの子どもたちの生活が伝わるよう配慮しています。
- ・「乳児の育児行為への保育士の丁寧な関わりについて」など保育マニュアルや、保育室やトイレなどの清掃手順が分かりやすく作成されています。各保育室には畳やコーナー遊びが整備されており、子どもたちが安心して活動出来るよう配慮しています。障害児保育は津守式の巡回指導を受け、職員間で共通の認識のもと実施しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-（1） 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア一記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-（2）一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

〔自由記述欄〕

- ・新入園児は家庭訪問、進級児には個人面談を実施しており、毎年保護者との面談を行い、保護者懇談会の年3回実施や保育参観も行っています。「おやじの会」では男性保護者に保育所の營繕作業を手伝ってもらうなど、保護者と共通理解を得るための機会を設けています。
- ・虐待対応については、児童相談所・支援センター・保健センター・保育課保健師など関係機関との連携を図っており、対応出来る体制があります。
- ・一時保育は壬生保育所のフォロー保育所として、月3回程度の受け入れを行っています。また、子育て困難家庭への支援事業として一時保育を有効に活用しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

〔自由記述欄〕

- ・給食衛生管理マニュアル、アレルギー緊急対応マニュアル、危機管理対応マニュアルなどが整備されています。
- ・安全委員会を職員で設け、怪我・誤飲なども含むヒヤリハット報告書を作成しており、細かな出来事も記録し、その情報が職員間で共有されています。また安全点検表や遊具チェック表で、事故防止に努めています。